

メガネを安全に お使いいただくための

ハンドブック



ご使用上のご注意とお願い

- 必ず本ハンドブックをよく読んでから、メガネをお使い下さい。
- 必ず本ハンドブックを大切に保存しておいて下さい。

[発行元]

日本眼鏡販売店連合会（日本眼鏡安全協会）

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11
油脂工業会館6F

☎03-3275-1776

(受付時間 平日 10:00AM～ 5:00PM 土曜・日曜・祝日休)

●無断複製を禁じます。

●このハンドブックについてのお問い合わせは、上記の日本眼鏡安全協会宛にお願いいたします。

平成 5 年 6 月 発行
平成 12 年 6 月 改訂
平成 15 年 8 月 改訂
平成 20 年 4 月 改訂
平成 23 年 4 月 改訂
平成 29 年 10 月 全面改訂

10-80 11-40 12-80 13-50 14-60 15-100 17-80 20-100 23-90 28-30 29-50

メガネを安全にお使いいただくために

メガネを安全・快適にお使いいただくには、正しいお取り扱いが必要です。

〈ご使用上のご注意とお願い〉

- 必ずこのハンドブックをよく読んでから、メガネをお使い下さい。
- このハンドブックを大切に保存しておいて下さい。
- 使用者がお子様の場合、保護者の方がよく読んでお子様にご説明下さい。

以下の場合、お買い求めのメガネ店にご相談下さい。

- お読みになり、わからない点があった場合。
- メガネの使用・見え方・掛け心地について。

[本文中の注意記号]

■誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

-  **警告** 「重傷や失明のおそれがある内容」です。
-  **注意** 「傷害や物的損害のおそれがある内容」です。
-  一般的な注意が必要なことを示しています。

■守っていただく内容を次の記号で表しています。

-  してはいけない内容です。
(特定の行為の禁止を表します。)
-  実行しなければならない内容です。
(特定の行為の義務づけを表します。)

〈目次〉



- ⊗ 危険が予想される場合のメガネのご使用について …… 8頁
- ⊗ 太陽など強い光線や特殊光線を見ない …… 9頁
- ⊗ 色の濃いレンズ・色の濃さが変わるレンズは暗い場所で使用しない …… 9頁
- ⊗ メガネに慣れるまで運転などに使用しない …… 10頁
- ⊗ 中近レンズ・近近レンズ・近用レンズは運転などに使用しない …… 10頁
- ⓪ 使用前に点検し、少しでも異常のあるメガネは使用しない …… 14頁

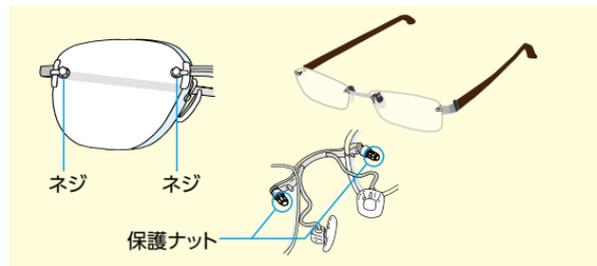


- ⊗ 中性の洗剤以外は使用しない …… 11頁
- ⊗ 急激な温度差のある場所、高温・低温の場所で使用しない …… 11頁
- ⊗ 傷んだレンズは使用しない …… 12頁
- ⊗ 腐食・メッキはがれのフレームを使用しない …… 12頁
- ⊗ 変形・改造・接着などをしない …… 13頁
- ⊗ 高温の場所に放置したり、高温のものに近づけない …… 13頁
- ⓪ メガネの正しい取り扱い方 …… 14頁
 - メガネを掛けるとき・はずすとき …… 15頁
 - メガネを置くとき …… 15頁
 - メガネのお手入れ方法 …… 16頁
- ⓪ 1年を目安に販売店で点検を受ける …… 18頁

メガネ各部の名称



縁なしフレーム (リムレスフレーム、ツーポイントフレーム)



溝掘りフレーム (ナイロンリムフレーム、ハープリムレスフレーム)



プラスチックレンズは主に以下の「コート膜」で守られています。



※その他も用途に応じたコートがあります。販売店でお問い合わせ下さい。

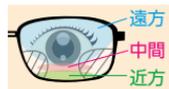
プラスチックレンズは、何層ものコート膜が施されています。それぞれは非常に薄い膜ですので、ご使用方法によってはキズが付いたり、コート膜がはがれたりします。長く快適にお使いいただくために、正しくお取り扱い下さい。(14～18頁参照)

出展:日本医用光学機器工業会「メガネと快適におつきあいいただくために。」

多焦点メガネレンズの種類について

1 遠近両用レンズ(累進屈折力レンズ)

視線を上下させることで、遠くから近くまで連続的に見えるレンズ。



2 中近両用レンズ(累進屈折力レンズ/室内専用)

視線を上下させることで、中間から手元まで連続的に見えるレンズ。



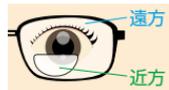
3 近近用レンズ(累進屈折力レンズ/室内専用)

視線を上下させることで、手元から奥まで連続的に見えるレンズ(デスクワーク用)。



4 バイフォーカルレンズ(二重点数レンズ)

視線を上下させることで、遠方及び近方が見えるレンズ。



※見える範囲はレンズの種類や度数等によって異なります。
※この図の斜線で示している部分は、視線が入るとコレやユガミを感じますので使わないようにします。

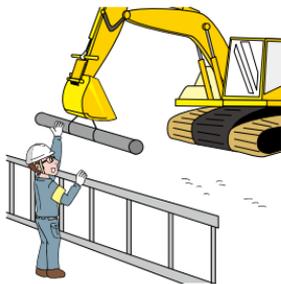


危険が予想される場合は
メガネの使用に十分に注意する。

メガネ(フレーム、プラスチックレンズまたはガラスレンズ)は強い衝撃を受けると破損し、ケガまたは重大な事故になる危険性があります。失明に至る場合もありますので、激しい動きや、接触の恐れのあるスポーツ時にはご使用しないで下さい。



また、その他の動きの激しいスポーツや接触のおそれのある危険な作業等の際のご使用には十分にご注意下さい。



太陽や強い光を直視しない。特殊光線用の保護メガネとして使用しない。

太陽や強い光を直視すると、失明などの原因となりますので、カラーレンズであっても直視しないで下さい。

また、溶接・紫外線・レーザー・X線などの保護メガネとしての機能はありません。



色の濃いレンズ、色の変わるレンズは暗い場所で使用しない。

濃度25%以上のレンズは、夜間やトンネル内などの運転には不適當です。

また、調光レンズ(紫外線で色の濃さが変わるレンズ)も夜間やトンネル内などの運転には不適當です。





メガネに慣れるまで、階段の上り下りや運転などに使用しない。

メガネに慣れるまで、階段の上り下りや運転などに使用しないで下さい。

特に遠近両用レンズは注意が必要です。慣れてからも、運転でのバック(後退)時には特に注意して下さい。



遠方視できないレンズ(中近・近近・近用レンズなど)は運転などに使用しない。

中近(室内用)・近近(デスクワーク用)、近用(老眼鏡)などのレンズは、乗り物の運転や操縦、屋外作業やスポーツには絶対に使用しないで下さい。



中性以外の洗剤はメガネに使用しない。

レンズの汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた液で洗って下さい(理由:レンズにシミが残り、取れなくなったり、コート膜がはがれたりします)。

それ以外の洗剤(石けん・ハンドソープ・ボディソープなど)、カビ取り剤、酸性洗剤、化粧品、整髪料、油、汗、果汁などが付着した時は、すぐに水道水で洗い、乾く前によく拭き取って下さい。

スポンジやタオルの使用は避けて下さい。



急激な温度差のある場所、高温・低温の場所で使用しない。

急激な温度差があると、レンズのコート膜にヒビが入ることがあります。見え方に異常を感じたら直ちに使用を中止して下さい。

また、ヤケドや凍傷の原因となりますので、サウナ室や温泉、大型冷蔵庫など極端に高温・低温の場所では使用しないで下さい。





傷んだレンズは使用しない。

🚫 レンズのキズ、ひび割れ、コートはがれなどにより見え方に異常を感じたら、直ちに使用を中止して下さい。乱反射で見えにくくなる場合があります。特に夜間の運転には使用しないで下さい。

※レンズのキズ、ひび割れ、コートはがれは、修復(修理)することができません。

🚫 一度衝撃を受けたレンズは、割れていなくても強度が低下する危険があります。キズや歪みが見られたら交換して下さい。



腐食・メッキはがれのフレームを使用しない。

🚫 腐食したり、メッキや塗装がはがれたりしたフレームは使用しないで下さい。またフレームに異常がなくても、鼻や耳の後ろやこめかみなどフレームに触れる部分にかゆみ、かぶれ、湿疹が出ることがあります。そのような時には、直ちに皮膚科の医師の診察を受けて下さい。



変形・改造・接着をしない。

🚫 故意に変形・改造をしないで下さい。また、安易に接着剤を使用しないで下さい。

素材の劣化により破損の原因になります。



高温の場所に放置したり、高温のものに近づけない。

🚫 暖房近くや炎天下の車の中、砂浜などメガネを高温の場所に放置しないで下さい。



また、熱湯による洗浄、ドライヤーの使用、アイロンや熱い油、炭火など高温のものに近づけないで下さい。破損・変形・発火の原因になります。

メガネの正しい取り扱い方

使用前に点検し、少しでも異常のあるメガネは使用しないで下さい。レンズがしっかり固定されているか、すべてのネジがしっかり締まっているかを使用前によく点検し、少しでも異常を感じたら使用せず、お買い求めのメガネ店でご相談下さい。

❗ 特にツーポイントフレーム（縁なしフレーム）の保護ナットがはずれるとネジで顔や目を負傷する恐れがあります。

❗ 溝掘りフレームなど、ナイロン糸でレンズを支えるメガネはナイロン糸が切れる場合がありますから、よく点検してからお掛けください（15頁参照）。



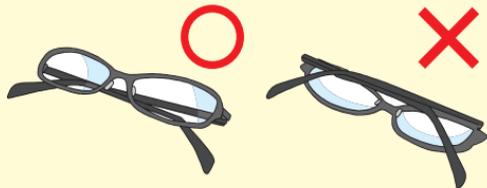
●メガネを掛けるとき・はずすとき●

両手でテンプル(つる)を持って、ゆっくりと掛けはずしをして下さい。片方のみを持って掛けはずしを行いますと、破損、変形、ゆるみなどの原因となり、見え方、快適な掛け心地が損なわれます。



●メガネを置くとき●

レンズの表面を上向きに置いて下さい。下向きに置きますと、レンズにキズが入ります。



メガネのお手入れ方法

1 レンズに異物やホコリが付着しているとき

まず水洗いして下さい。ティッシュペーパーで水気を取り、きれいなメガネ拭きで軽く拭いて下さい。から拭きはしないで下さい。から拭きはレンズに傷が入ったり、コート膜がはがれたりするなどの要因になります。水またはティッシュペーパーがない場合はクリーナーをお使い下さい。



2 拭き方

拭く方のレンズの外側を持ち、サンドウィッチをつまむぐらいのやさしさで両面から拭いて下さい。強く拭く必要はありません。



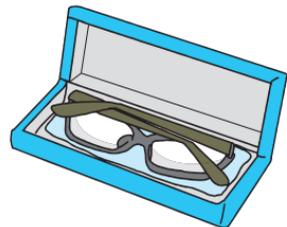
3 汚れがひどいとき

中性洗剤を薄めた液で洗って下さい。そのあと水洗いしてティッシュペーパーで水気を取り、きれいなメガネ拭きで軽く拭いて下さい。



4 保管するとき

メガネ拭きでメガネをくるみ、メガネケースに入れて下さい。メガネケースには、メガネ以外のものは入れないで下さい。





1年ごとを目安に販売店で点検を受ける。



ご購入時の性能を維持するため、年に一度はお買い上げの販売店で点検・調整をして下さい。



- ナイロン糸でレンズを固定するメガネ(溝掘りフレーム)はナイロン糸が劣化します。1年ごとを目安にナイロン糸を交換して下さい。
- ツーポイントフレーム(縁なしフレーム)は多くのパーツで作られているため、ていねいなお取り扱いの上、必ず点検をお受け下さい。
- メガネを修理した場合、修理箇所が破損前に比べて弱くなります。よりていねいなお取り扱い下さい。

メガネ点検の記録(年月日メモ)

年/月/日	内 容
/ /	
/ /	
/ /	
/ /	
/ /	
/ /	
/ /	
/ /	
/ /	
/ /	

※お使いのメガネの点検記録としてご利用下さい。